

# 精華町教育委員会会議録

平成24年（第12回）

1 開 会 平成24年12月21日(金) 午前10時00分  
閉 会 平成24年12月21日(金) 午前11時05分

2 出席委員 伊藤委員長 中谷委員 弓矢委員 大竹委員  
太田教育長 (欠席委員なし)

3 出席事務局職員

木原教育部長 竹島学校教育課長  
村川生涯学習課長 永井総括指導主事  
土井学校教育課主幹

4 傍聴者 なし

5 議事の概要

(1) 開会

委員長から第12回教育委員会の開会を宣言。

(2) 前回会議録について

教育部長から平成24年第11回教育委員会の会議録について説明。

**【意見等】**

・特になし。

**【採 決】**

・全員承認。

(3) 教育長報告事項

ア 精華町立体育館・コミュニティセンター及び町内体育施設の指定管理者の指定について

12月定例議会で精華町立体育館・コミュニティセンター及び町内体育施設の指定管理者の指定について、現在直営で行っている管理運営を体育協会に任せるという議案を提案。非公募で1者選定については、本

来公募でやるべきといった考えもあり、9月以降、総務教育常任委員会で何回も議論を重ねていただいた。今回、議案を提案し、総務教育常任委員会に付託されたが、1回の委員会では結論が出ず、2回目の委員会で慎重に審議された結果、全会一致で賛成いただいた。今日の本会議で可決いただけるものと思っている。

また、審議の過程でいろいろな意見が出され、委員会では付帯決議が全会一致で可決されている。

#### 【委員の意見等】

特になし

#### (4) 協議事項

##### ア 教育委員長職務代理者の選任について

伊藤委員と弓矢委員の任期が12月21日満了になるため、伊藤委員の再任と、新委員として蓑毛委員の選任同意について、12月定例議会で可決。また、委員長の任期も本日で満了となり、新任の蓑毛委員の任期は22日からのため、22日に教育委員会を開催し委員長を選任すべきところであるが、土曜日のため25日に教育委員会を開催し、委員長の選任を行いたい。その間、委員長が不在となるので、本日、委員長職務代理者の選任を行いたい。教育委員会会議規則で先任の委員が委員長の職務を代理するとなっており、中谷委員を選任することです承。

#### (5) 教育部からの報告

##### ア 教育部長

##### ①平成24年第4回定例会について

・精華町教育委員会委員の任命同意について、12月5日の開会日に即時議決され、伊藤委員、蓑毛委員とも全員同意で可決。ただし、蓑毛委員は、民生児童委員を兼ねていることもあり、町の行政委員全般について複数の役職を重複することの基本的な考え方について質問があった。できるだけ役職の重複は避けるが、適任者と判断する場合は依頼する。ケース・バイ・ケースで考えると町長が答弁。

・補正予算（第5号）の要保護・準要保護児童生徒の就学援助の追加計上について、予算決算常任委員会では全員可決で承認。

・精華中学校コンピュータ備品の取得について、総務教育常任委員会で古い機器の処分と活用の関係の質疑があり、使用が可能な3台程度をクラブ等で活用する。それ以外は廃棄すると答弁。総務教育常任委員会では全員賛成で可決。

・精華町立体育館・コミュニティーセンター及び町内体育施設の指定管理者の指定について、事業計画の具体性に欠ける部分など、質問に対しての説明不足だということで、1回目の総務教育常任委員会は継続審議となり、2回目の総務教育常任委員会で全員賛成で可決。ただし、付帯決議があった。付帯決議の内容は、第三者委員会で運営をしっかりと見ていくこと、事業計画が具体性に乏しいため実施計画を策定すること、むくのきセンターが広域避難場所なので指定管理者と行政の役割分担を決めて、危機管理・災害対応マニュアルを作成すること、平等性、透明性確保のために現在行っている施設利用等の使用料の減免措置の規則等の改正を検討すること、文化協会と連携して文化面をもっと推進することの5項目。

・一般質問の答弁内容について、

今方議員から、「釜石の奇跡に習う実践的防災教育の見解は」の質問、「わかる」「助かる」「みんなで助かる」ことを学校教育における安全教育の目標としているということ、本年度の指導の重点において、自らの命を自らが守るための知識や判断力を養い、災害時に自らの役割について考え、行動できる力を育む教育の充実を目指して取り組みを進めているということ、防災教育の充実に努めていくことを答弁。再質問で、「地域で実施される防災訓練への小・中学校の参加は」の質問で、学校としては、まずは助かることを重点にし、地域との連携も大事であると答弁。

三原議員から、「土曜日活用、大阪市でもモデル校を指定して環境整備し、学力向上の強化策として目指している。本町での土曜日授業導入の考え方は」の質問で、土曜日の意義、完全週5日制の意義、趣旨として、学校、家庭、地域社会が相互に連携しつつ、子供たちに社会体験や自然体験などのさまざまな活動を経験させ、自ら

学び、自ら考える力や豊かな人間性等々、子供たちに生きる力をはぐくむことであること、京都府教育委員会で、土曜日の教育活動を一層進めていくために、来年度に向けてそのあり方を検討中であること、その動向を注目し、今後のあり方を検討していくことを答弁。再質問で、大阪市では学力向上でやっている。保護者からも「土曜日授業の実施をしてほしいという声もあり、今後の考えは」の質問で、趣旨は地域社会との連携、協働であること、今後については京都府教育委員会において検討中であり、近く方向性が示される予定であることを答弁。

和田議員から、「学校給食残菜、残飯を活用した環境教育の一環として堆肥化処理機の導入の研究成果と導入の見通しは」と「有用微生物を活用したプール清掃の今後の拡大と支援策」の質問で、堆肥化処理機を導入することにより、より効果的な体験型環境教育、農業体験につながると考えていること、処理機導入に向けて、まずはモデル校を決めて試行できないか検討することを答弁。プール清掃については、汚れがこびりつかず掃除が楽になり、プール清掃における時間と労力が低減でき効果があるといった現場の声があること、導入拡大については各学校へ働きかけていくと答弁。

神田議員から、「議会決議を重く受け止め、中学校に完全給食の早期実施を」の質問で、9月から精華町子どもの食のあり方懇談会を立ち上げ、活発な議論が交わされていること、本町にとって一番ふさわしい中学校給食のあり方について、今年度中に基本的な方向づけを行っていくことを答弁。再質問で、「給食実施に向けての工程表を出してほしい」の質問で、今年度中に方向性を出していくと答弁。

内海議員から、「脳脊髄液減少症の対応について」の質問で、児童生徒の健康管理には十分注意しながら、安心して学校生活を送れるよう努めていくと答弁。再質問で、「京都市内に専門医がいる、更なる周知を」の質問で、今後周知方法を考えていくと答弁。

松田議員から、「特別支援教育の基本的考え方と現在の課題認識、改善策」の質問で、障害者基本法の一部を改正する法律で可能な限り障害者である児童及び生徒が障害者でない児童生徒とともに教育

を受けられるよう配慮しつつ、教育の内容、方法の改善及び充実を図るなど、必要な施策を講じなければならないとされているが、この理念に沿った教育条件がまだまだ国の制度として整備されていないこと、特別支援教育の指導員や支援員、介助員は町単費で措置していること、各学校には特別支援教育コーディネーターを指名し、医療機関との連絡調整や保護者との窓口担当としての役割を担わせていること、専門的なアドバイスや支援ができる人材育成、個別の配慮を必要とする児童生徒への人材確保も課題であること、今後、研修機会の提供、関係機関との連携強化を行うとともに、校長会議、教頭会議等で各校への指導や支援を充実させていきたいと考えていると答弁。再質問で、「親が声を出さないと学校は動いてくれない、学校間での違いが見られ、親の気持ちなど理解されていないと考えるが」の質問で、きめ細やかさなど親の気持ちに対して少し足りない感じがある。今後、改善工夫していくと答弁。

山口議員から、「精華台五丁目の入居開始に関しての小・中学校の受け入れ態勢はできているのか」の質問で、受け入れ態勢に支障が出ないよう慎重に対応していく、万全を期していくと答弁。

宮崎議員から、「早期の中学校への給食導入と図書館による高齢者福祉施設としての活用への仕掛けは」の質問で、給食に関しては、神田議員と同じ答弁をし、図書館の関係は、高齢者が語らう広場づくりについては図書館活動や社会教育活動の趣旨に照らしてどんなような事業ができるのか、図書館だけではなく交流ホールも含め研究していくと答弁。

## ②請願書、陳情書について

教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願書として、請願内容は、中学校給食の早期実施、普通教室のクーラー早期設置、可能なところから30人学級実施、特別支援学級や通常学級に在籍する支援を必要とする児童生徒への支援員のなお一層の配置、通学路の安全確保、図書館司書の配置を継続の6項目。総務教育常任委員会では、趣旨はわかるが厳しい財政状況の中ですぐにできないということで、趣旨採択。

精華町立中学校完全給食を早期に求める陳情が、桜が丘の方から

出された。陳情事項は、町立中学校の完全給食実施を早急に実現、1年以内に校区ごとの実情に合わせ実現可能な形で中学校における昼食環境の充実を図る、3年以内に各校区に適した設備を完備し完全給食の提供を実現するの3点。総務教育常任委員会で陳述を聞かれた。陳述であるため採択などはない。

## イ 学校教育課長

### ①第6回やましろ未来っ子E K I D E Nの結果について

12月1日に山城総合運動公園（太陽が丘）陸上競技場で開催。成績は、精華台小学校が40分45秒の成績で全出場校27校の内第1位。本町から出場した他の学校の成績は、東光小学校が第6位、川西小学校が第8位、山田荘小学校が第14位。

### ②平成24年度夏休み省エネチャレンジキャンペーンの参加について

本町から精華台小学校、精北小学校、東光小学校の3校がキャンペーンに参加、優秀校に東光小学校が参加世帯数部門と、二酸化炭素の削減量部門の2部門で第1位となり選ばれた。12月9日に京都パルスプラザで開催された京都環境フェスティバルのイベント表彰式で、優秀校として京都府知事表彰を受賞。あわせて、協賛企業から特別受賞校として、ケニス賞（環境教育に役立つ手回し発電機セット10個組）を受賞。

取組み内容は、家族と一緒に過ごす時間が長い夏休みを活用して、エコチェックシートで、できた項目に丸をするというもの。具体的な項目としては、エアコンはできるだけ使わない、テレビを見る時間を1日1時間短くする、シャワーをつけっ放しにしない、電気を小まめに消してつけっ放しにしない等で、それぞれ各家庭で、二酸化炭素の削減に向け、省エネなどの地球温暖化対策に取り組んだかというもの。府内123校のうち、2部門で東光小学校が第1位だった。

### ③精華町子どもの食のあり方懇談会について

これまで3回開催したが、中学校における課題等が出ている状況のため、もう1回懇談会を開催し、最終的なまとめに入りたいと思っている。

#### ④精華中学校校舎改築等検討委員会について

木津南中学校で採用されているコンパクトなツイン廊下型について、12月19日に木津南中学校に視察に行った。各委員にも見てもらい、ツイン廊下型について同意いただいた。今後それをもとに配置計画、施設の各部屋の状況を詰めていく。

#### ウ 総括指導主事

##### ①いじめ事象について

継続して報告している事象について、大きな動きはない。詳細部分については次回報告する。

一部学校の学年で少し落ちつかない状況があるので、調査したのもも次回報告する。

#### エ 生涯学習課長

報告なし

#### 【委員の意見】

- ・ツイン廊下はどんなものか。（伊藤委員長）
- ・ユニークな構造は小学校では生きるが、中学校では邪魔になることがあるので十分検討する必要がある。（伊藤委員長）
- ・精華町立中学校完全給食を早期に求める陳情をしている方々は、アンケートや懇談会をしていることを知っているのか。（伊藤委員長）
- ・プール清掃に使う有用微生物は何か。本当に効果があるのか。（中谷委員）

#### 【事務局】

- ・教室が両側にあり、真ん中が廊下になっている。ツイン廊下にすると敷地面積が有効に使える利点がある（教育長）
- ・ツイン廊下にすると整備費が抑えられる。（教育部長）
- ・精華中学校の校長、教頭も視察に行っている。（教育長）
- ・アンケートや懇談会を実施していることは承知されており、「早

期に」が焦点となっている。（教育部長）

・EMボカシに使うEM菌の液を春にプールに投入すると、プールの壁に付く藻が分解され、プール清掃のために水を抜くと藻も一緒に流れていくので掃除が楽になる。（教育部長）

（6）その他

① 11月から12月に受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数3件で、学校教育課関係は0件、生涯学習課関係が3件、うち社会教育係関係が2件、図書係は1件、体育係関係は0件。図書係の1件は共催事業。

（7）教育部からの諸報告

ア 1月の行事予定について。

（8）閉会

委員長が第12回教育委員会の閉会を宣言。